

注 意 報

長崎県病害虫防除所長

平成22年度病害虫発生予察 注意報第7号

野菜類・花き類 ハスモンヨトウ

1. 発生地域（対象地域） 県内全域

2. 発生程度 多

3. 注意報発令の根拠

- (1) フェロモントラップ（諫早市）の誘殺量は、9月5半旬に急激に増加した（図1）。また、病害虫防除員（フェロモントラップ）の報告でも、9月5半旬に誘殺量が増加した（図2,3）。
- (2) 9月下旬のブロッコリー圃場巡回調査（12筆）の寄生株率は13.3%（過去3カ年平均15.3%）、発生圃場率66.7%（同58.3%）、1株当りの寄生幼虫数0.8頭（同0.6頭）であったが、寄生株率が6.4%と高い圃場が見られ、发育ステージは卵塊～若齢主体であった。
- (3) 気象予報（福岡管区气象台、10月1日発表）によると、向こう1ヶ月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

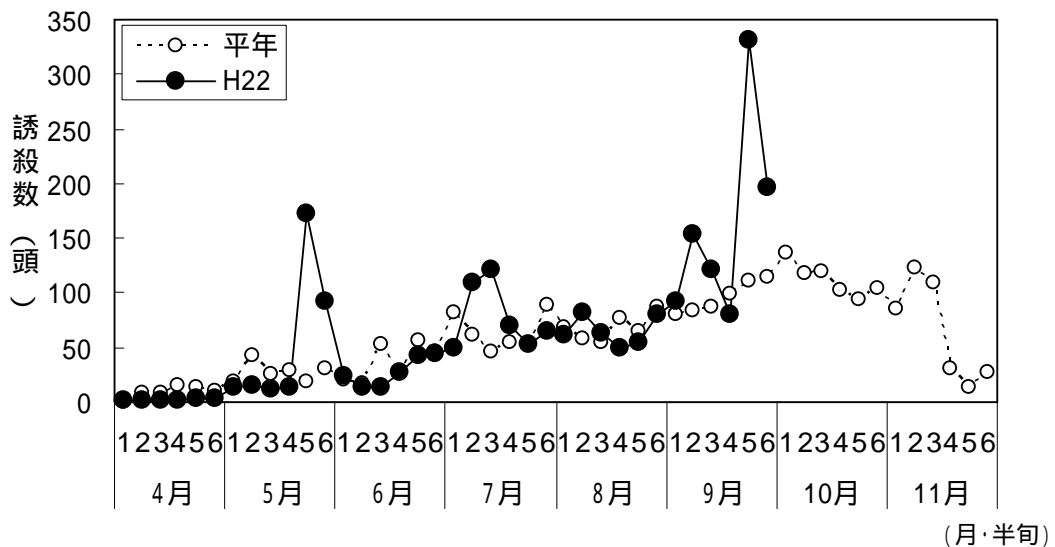


図1 ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況（諫早市小船越町）

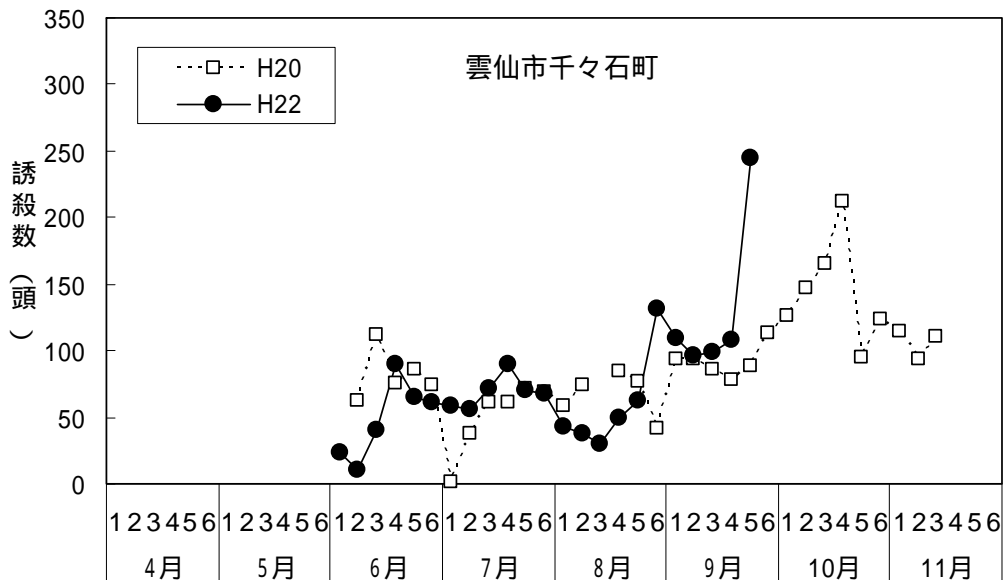


図2 ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況 (月・半旬)
 (病害虫防除員: 雲仙市千々石町)
 原則7日毎の調査結果を、1日当たり誘殺数に換算後、半旬毎に合計

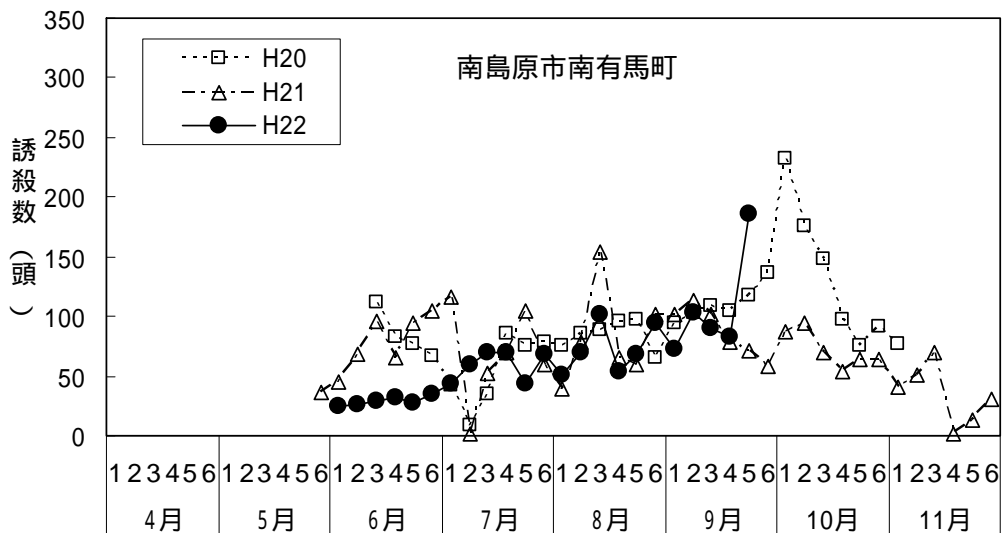


図3 ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況 (月・半旬)
 (病害虫防除員: 南島原市南有馬町)
 原則7日毎の調査結果を、一日当たり誘殺数に換算後、半旬毎に合計。

2. 防除対策

- (1) 圃場の見回りを徹底し、幼虫の発生が目立ってきたら直ちに防除を行う。
- (2) 幼虫は齢が進むと薬剤の効果が低下するので、若齢幼虫期に防除を行う。
- (3) 薬剤は虫体によくかかるよう丁寧に散布する。
- (4) 施設栽培では施設開口部を防虫ネット(4mm目以下)で被覆すると、成虫の侵入防止に有効である。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027